

## 「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機 関 名	名古屋大学	整理番号	S02
プログラム名称	「ウェルビーイング in アジア」実現のための女性リーダー育成プログラム		
プログラム責任者	高橋 雅英	プログラム コーディネーター	東村 博子

### ◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

#### [総括評価]

計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

#### [コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、総長のイニシアティブの下、教員が明確な教育目標を共有し、グローバルに活躍する女性リーダーの育成に向けた学位プログラムが実施されている。教育は英語で行われ、明確に定められたコア能力の獲得に向け、厳選されたテーマによってカリキュラムが構成、確立されている。特に海外研究演習や多文化共生特論は、学生が主体的に学内外で相互に切磋琢磨し、刺激し合っていることは十分評価できる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、学内のビジネス人材育成センターとともに中部経済連合会や産業界と連携したり、UN などの国際機関と教育理念を共有してプログラムへの協力を得ることにより、学生にグローバルリーダーとしての成長を実感させることができている。また、プログラム全体を通じて、女性リーダーのキャリアパスを提示できており、修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍が期待される。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、世界銀行をはじめ 12 の国際機関から第一級の講師を招へいする指導体制を構築し、インターンシップや就職支援を実施している。また、平成 28 年度後半からは学内のみならず外部組織（企業等）からのメンターの配置も準備され、より広い視野でメンタリングできる指導体制を構築していることは評価できる。

優秀な学生の獲得については、ウェルビーイング説明会や、学内外へ向けての広報活動、海外リクルート活動を積極的に展開し、厳格な選考を行うことで優秀な学生の獲得に努めている。しかし、競争倍率は必ずしも高いとは言えないことから、より広範に学生を募ることが重要である。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについては、質的保障の基礎となる Admission Policy、Curriculum Policy、Diploma Policy が確立されており、この方針の下、修得能力を包括評価する確かな質保証システムが構築されていることは評価できる。

事業の定着・発展については、総長の下に博士課程教育リーディングプログラムの内製・定着化計画が進められており、種々の改革が行われている。一方で、支援期間終了後の財政的保障については、継続的な努力が求められる。